

木曽川水系連絡導水路事業の概要

木曽川水系連絡導水路事業
環境レポート(検討項目・手法編)説明会

木曽川水系連絡導水路の概要について

○場 所

【上流施設】取水工:岐阜県揖斐郡揖斐川町(揖斐川)
放水工:岐阜県岐阜市(長良川)、
岐阜県加茂郡坂祝町(木曽川)
【下流施設】岐阜県羽島市、海津市(長良川・木曽川)

○目 的

1流水の正常な機能の維持(異常渇水時の緊急水の補給) 環境
木曽川水系の異常渇水時において、徳山ダムに確保された渇水対策容量のうち4,000万 m^3 の水を木曽川及び長良川に導水し、河川環境の改善を行う。

2新規利水の供給 利水

徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4.0 m^3/s 導水し、木曽川で取水を可能にする。

○諸 元

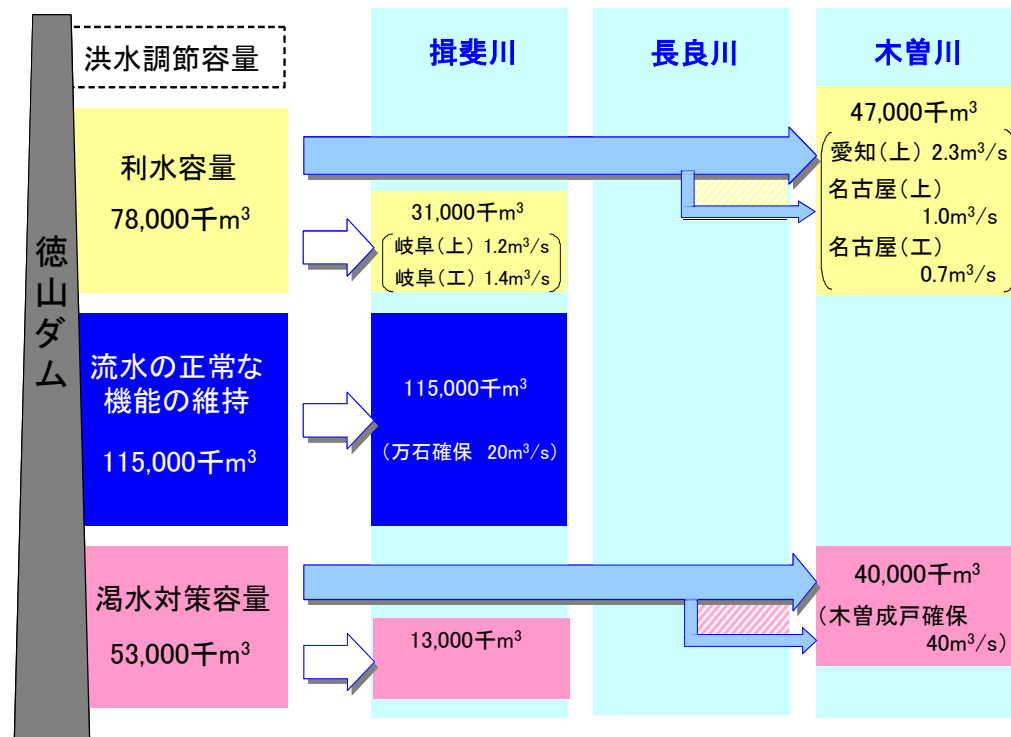
【上流施設】延長:約43km、最大通水量:20.0 m^3/s ~15.3 m^3/s
主構造:トンネル
【下流施設】延長:約 1km、最大通水量:4.7 m^3/s
主構造:パイプライン

○事業費 約2,270億円(予定)

令和6年度までの執行額 約60億円
令和7年度当初予算額 8.8億円

○工 期 令和18年度完了(予定)

【調査・設計・用地補償に3年程度、工事に9年程度の計12年間】



木曽川水系連絡導水路の概要について

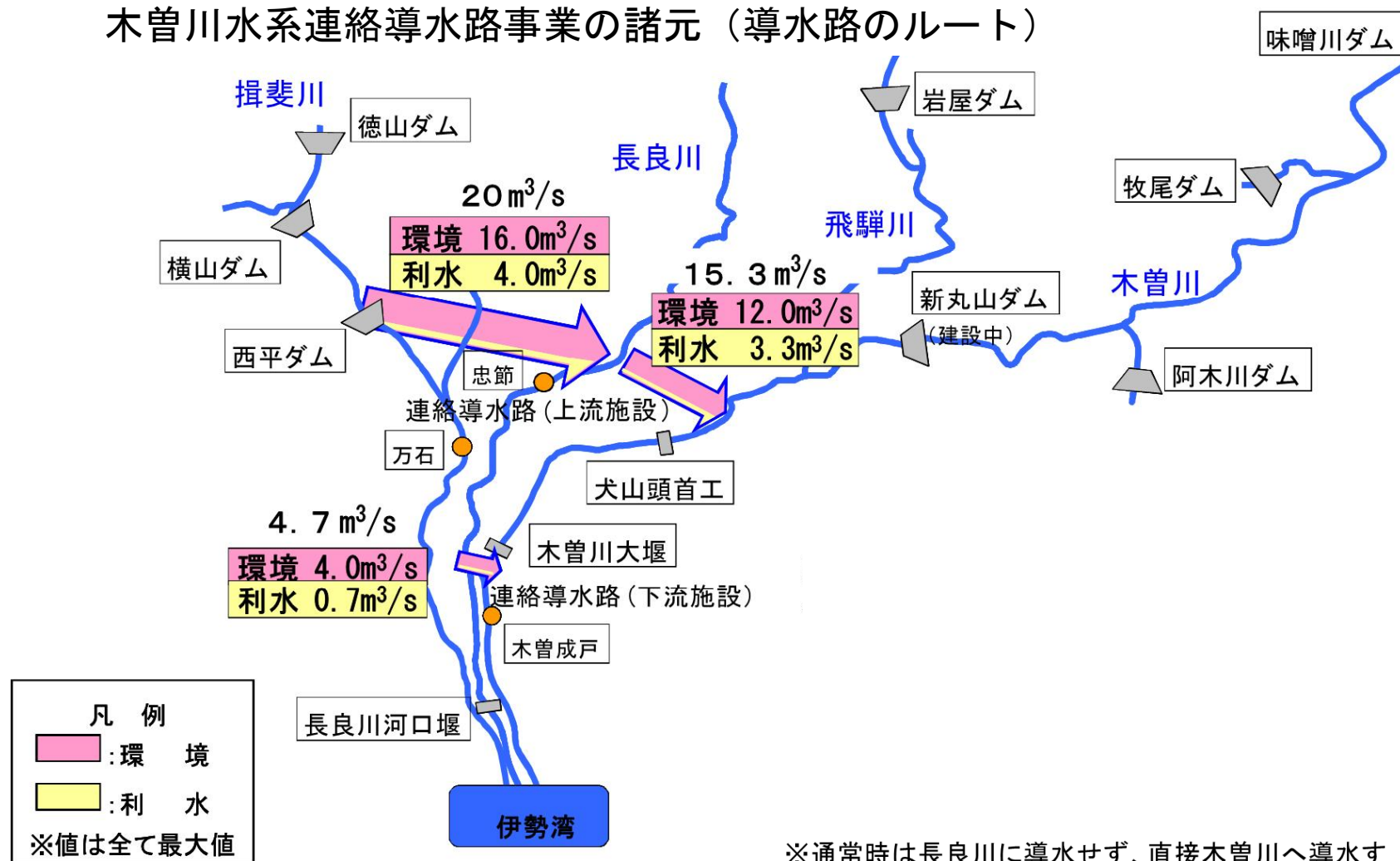
木曽川水系連絡導水路事業の経緯

平成18年	4月	国土交通省において実施計画調査に着手
平成19年	11月	木曽川水系河川整備基本方針策定
平成20年	3月	木曽川水系河川整備計画策定
平成20年	4月	建設事業に着手
平成20年	6月	「木曽川水系における水資源開発基本計画」の一部変更※を閣議決定 ※木曽川水系連絡導水路事業を独立行政法人水資源機構に承継し、建設事業着手するための、「木曽川水系における水資源開発基本計画」を追加変更。
平成20年	8月	「木曽川水系連絡導水路事業に関する事業実施計画」認可
平成20年	9月	「木曽川水系連絡導水路事業に関する事業実施計画」認可の告示（国土交通省告示第1034号）
平成20年	9月	独立行政法人水資源機構に事業承継
平成21年	7月	「木曽川水系連絡導水路事業環境レポート（案）」を公表
平成21年	12月	新たな基準に沿った検証の対象事業に選定
平成22年	9月	国土交通大臣から中部地方整備局長及び(独)水資源機構理事長にダム事業の検証に係る検討指示
平成27年	12月	「木曽川水系連絡導水路事業に関する事業実施計画」の変更認可 -「当分の間、事業を継続しつつ、引き続き「ダム事業の検証に係る検討について」（平成22年9月28日付け国土交通大臣指示）に基づきダム事業の検証に係る検討を進め、国土交通省が決定する対応方針を踏まえて速やかに必要な対応を行うものとする。」を追記-
平成28年	1月	「木曽川水系における水資源開発基本計画」の一部変更を閣議決定
令和6年	8月	ダム事業の検証に関して、国土交通省の対応方針が「継続」と決定
令和6年	12月	「木曽川水系連絡導水路事業に関する事業実施計画」の変更認可 工期 平成18年度から令和18年度までの予定、費用及びその負担方法 事業に要する費用の概算額 約2,270億円に変更

木曽川水系連絡導水路の概要について

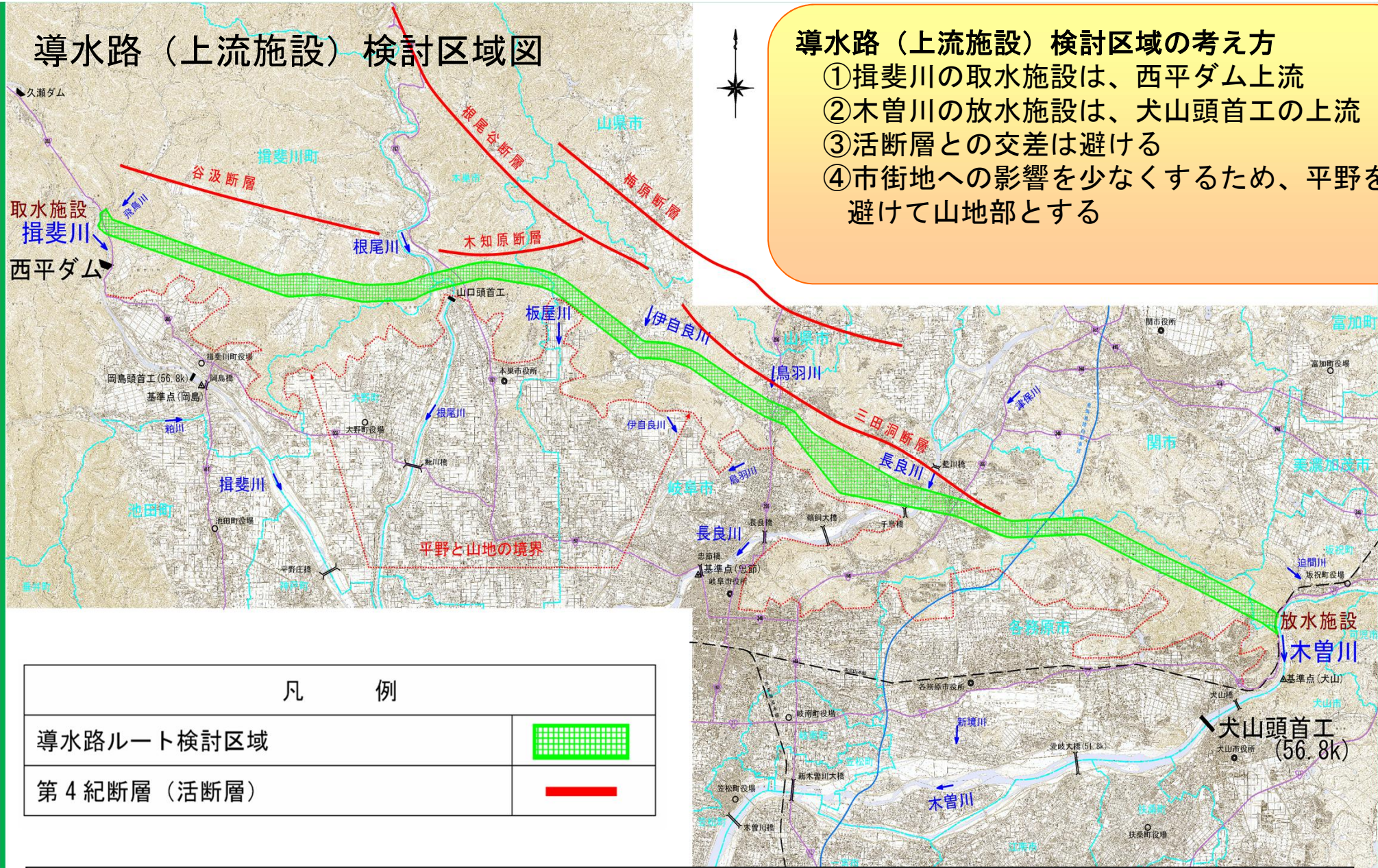
導水ルートは、地形・地質上の制約、経済性、河川流況改善区間延長及び利水供給可能区域等から、揖斐川西平ダム付近から木曽川坂祝地区に導水することを基本としている。
また、長良川中流部の河川環境の改善及び事業費の軽減を図るため木曽川への導水の一部を長良川を経由することとしている。

木曽川水系連絡導水路事業の諸元（導水路のルート）

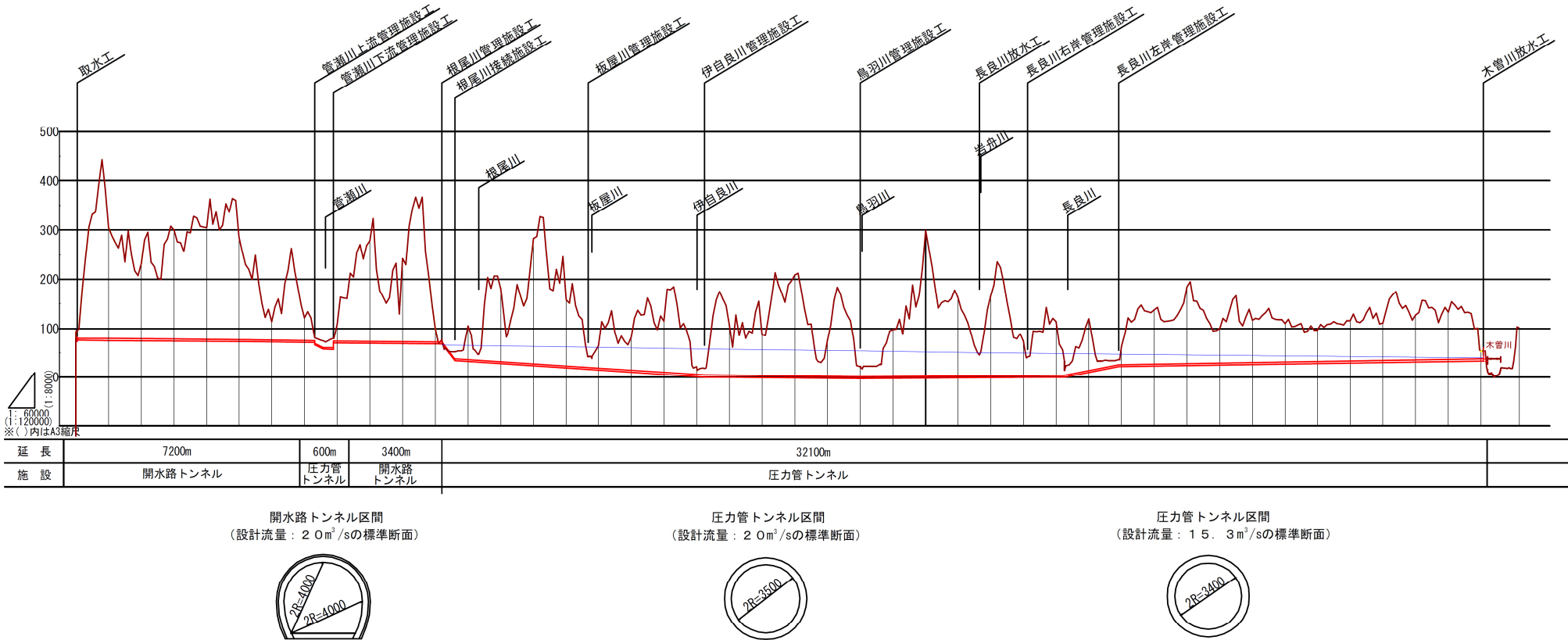


※通常時は長良川に導水せず、直接木曽川へ導水する方向で調整を進めて参ります。

木曽川水系連絡導水路の概要について



上流施設縦断計画（案）概要図



※ この概要図は、今後の調査・検討により変わることがある。

検証の対象事業となるまでの間に得られた環境・地質調査、概略設計及び現場条件等に対する設計・施工計画変更等の新たな情報を反映。